

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	透 訓	救 臨 感 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	28,813	非該当	非該当	7：1

※1 ド...人間ドック 透...人工透折 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

※2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
358	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	358
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
351	-	351

■ 当該病院値（当該値）
－ 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の両縦・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

市街地西部の中核病院として、救急医療・急性期医療を担い、24時間365日市民の生命と健康を守る役割を担っている。また、在宅医療支援を含めた地域社会との連携を図り、地域医療支援病院としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算においては、新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限はあったが、救急患者の受入への積極的な取り組みや化学療法増加により、医療収支比率は上がったが、同感染症関連補助金の減少により、経営収支比率は下がった結果となった。また、救急受入れや化学療法の増加等により、外来患者1人1日当たり収益は増加しているが、物価高騰に伴う経費の増加等も踏まえ、収益確保のためにさらなる取り組みが必要である。

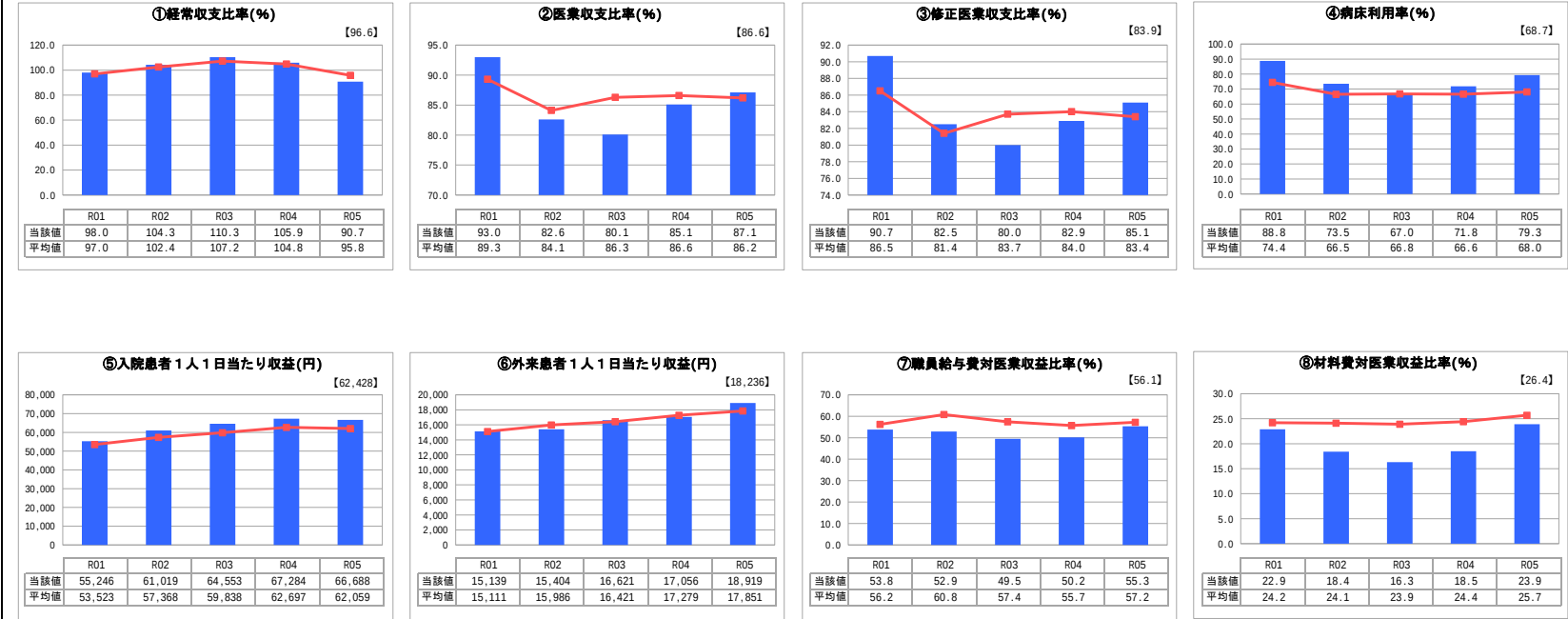
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は平均値を上回っている。病院建物は本館は築後23年、北館は築後31年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。器械備品減価償却率は、大型の放射線機器の更新などに伴い、整備した機器の減価償却が進んだことから前年に比べやや上昇した。

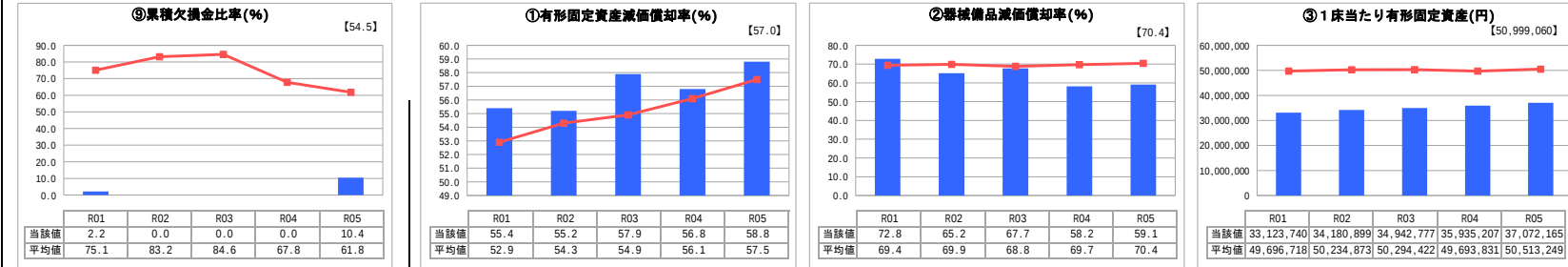
全体総括

新型コロナ感染症対応において5類移行後も市民病院機構として全市の中核的役割を果たしてきた。この間、通常医療の制限を伴いながら感染状況に応じて必要な病床を確保し、地域医療機関からの患者紹介を断らざるを得ない状況が続いた結果、患者紹介ルートが途切れたことにより、令和2年以前よりも入院・外来患者数は減少している。加えて、エネルギー価格の高騰をはじめとする経費の大幅な増加の影響が顕在化したことにより経営状況が急激に悪化。また、新型コロナウイルス感染症関連補助金の大幅減により、経営収支比率は100%を下回った。医療収支比率は依然新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻ってならず、各種加算の算定率向上や救急車応需件数の増等増収に努めるとともに、仕様・体制の見直しによる委託費の削減や徹底した価格交渉等により費用効率化に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。